

## カメレオンのかきごおりや



谷口智則 作  
アリス館  
税込価格 1,650円

カメレオンが透明な水を削り、世界中で集めた色とりどりのシロップをかける。すると不思議な事が……。猿が元気がないと言えば、黄色い太陽かき氷。熊の夏バテには、青い海風かき氷。しかし、夜になり真っ黒になったカメレオンは、自分は何色

なんだろうと月に問いかける。

日本画を学んだ作者は、色使いが独特で、シロップが溢れて、そのまま絵本の中にこぼれたよう！

黄青紫赤緑。どのページにもその色に変わったカメレオンが隠れている。半開きのカメレオンの目は、表情豊かだことばなんていらぬ。

かき氷は『枕草子』にもとても貴重な物として書かれている。今では、緑日の呼び物の一つであり、夏の風物詩そのものだ。

この夏、自分に自信を無くしたら、虹色かき氷。何色にでもなれる未来が、あなたにも勇気をくれる。(Y)

## そらいろ男爵



ジル・ボム 文  
ティエリー・デデュ 訳  
中島さおり 主婦の友社  
税込価格 1,430円  
Le Baron bleu  
by Gilles Baum

空色の飛行機にのって鳥を眺めていたそらいろ男爵だったが、戦争が始まり、男爵も戦うことになる。始めに、砲弾の代わりに、重い事典を落としてみたら、敵を撃破できた。次に、小説を投下したところ、敵が本に夢中になり、戦いは一時中断。

気を良くした男爵は、前線に次々と面白い本を投下して戦いを止めていく。そしてある日、戦争を終わらせる名案を思い付く……。

第一次世界大戦から百年目にフランスで刊行されたこの作品、「ペンが剣よりも強し」という格言の様に、暴力で対抗するのではなく、知恵を使い人間らしい心に訴えて戦争を止めるという物語。平和への願いと同時に本の素晴らしさを伝えている。

ユーモラスなことばと共に絵も魅力的で子どもも大人も引き込まれる。本は世代も国境も超えて人の心に響くと、この本が教えてくれる。(E)

## reference

## せなけいこ詩画集 ちいさな世界



詩・絵 せなけいこ  
ポプラ社  
税込価格 2,530円

せなけいこの詩に、絵本の原画を合わせて贅沢な詩画集が生まれた。独自の貼絵で絵本を探索して五十余年、子どもの気持ちを汲み取り描いた絵はどれも温かい。懐かしい絵が次々に登場。手でちぎった紙の味わいと、缺で丹念に切りだされた細

かなに設えに改めて惹きこまれる。巻末に掲載原画の出典一覧もある。

大好きな父の影響で幼い頃から俳句を詠んだという。身近な情景を題材に綴られた詩は子どもの心模様そのままだが、ことばは心の鏡。詩のリズム感や、色、匂い、味と五感を通して紡ぎだしたことばから作者の姿が伝わってくる。「病氣」の詩では、親の慈愛に包まれ感性豊かに育てられた幼少時の光景が垣間見られる。

成長と共に手に取る本は変わるが、惜しめない愛情を注がれた時期を共に過ごした絵本は心の拠り所になる。傍らに常に置いておきたい。(R)

## ロドリゴ・ラウバインと

## 従者クニルプス



ミヒヤエル・エンデ 共作  
ヴィェラント・フロイント 訳  
木本栄 junaida 小学館 絵  
税込価格 2,090円

クニルプスは、旅する人形劇団の親方の息子。まだ善悪の判断がつかないので、悪い事を知る為、悪名高き盗賊騎士ラウバインの従者になろうと人形劇団の馬車から逃げ出し、ラウバインが住むオソロシ城に向かう。ラウバインは本当は優しく怖が

りな大男。周囲の人々が自分をもつと怖がって近づかぬよう、手作りの骸骨を道に並べ、自分の悪事だと噂を流し城に隠れている。一方、息子が誘拐されたかと親方は……。

『モモ』等での有名作者ミヒヤエル・エンデの遺稿。長年エンデのファンだった作家のフロイントが結末まで纏め上げた。子どもの心を捉えて離さないエンデのストーリーの楽しさも、教訓めいた愉快な一言も、原作者の面影を残している。

夢中になって読み耽る物語が少なくなっている今、ぜひ子どもの本棚に並べたい一冊。(K)